

令和8年3月田辺市長定例記者会見（市長コメント）

私ども田辺市民の誇りである南方熊楠翁の偉業を称え、田辺市と南方熊楠顕彰会が平成2年に制定しました南方熊楠賞も、本日ここに第36回の受賞者を発表する運びとなりました。回を重ねるにつれて、「知の巨人」南方熊楠翁の名を冠した賞にふさわしいものに育ってきたと各界から高い評価をいただいております。

ご存知のように南方熊楠賞は、熊楠翁の研究対象であった、民俗学及び博物学関係の分野において国内外を問わず顕著な業績のあった研究者を、人文部門、自然科学部門から毎年交互に選考し、賞状・トロフィー・副賞をお贈りしております。

今回の南方熊楠賞は、人文の部より賞をお贈りすることとし、選考委員会において慎重なご審議をいただいた結果、近畿大学名誉教授で、民俗学をご専門とされる「野本 寛一（のもと・かんいち）」先生に、本賞を謹んでお贈りすることに決定いたしました。

選考委員会においては、「精力的かつ徹底したフィールドワークによる資料収集に基づいて、日本列島各地の人びとの生活史・民俗誌を描き、特に人と自然環境とのかわりに注目した〈環境民俗学〉の領域を切り拓いてこられた。人びとの暮らしやなりわい生業がいかに自然環境とのかわりのなかで営まれて、また、どのように変容してきたのかを、現場の実態から明らかにしようとするもので、その成果は数多くの著作に結実している。」との高い評価をいただきました。こうした素晴らしい功績は、まさに第36回南方熊楠賞にふさわしいものであり、主催者としても野本先生に本賞をお贈りできることを大変喜ばしく感じている次第です。

なお、授賞式につきましては、令和8年5月9日、午後1時30分より、田辺市役所1階多目的ホールにて執り行います。あわせて、式の終了後には受賞された野本先生を講師にお迎えし、「樹と森と淵の伝承－環境保全と資源持続への示唆－」と題した受賞記念講演を開催いたします。

なお、受賞者の経歴並びに授賞式の詳細につきましては、このあと事務局から説明いたします。

結びに、野本先生のこのたびの受賞を心よりお祝い申し上げますとともに、本賞の運営に際しまして、選考委員の先生方をはじめ、関係各位のご尽力に深く感謝申し上げます。今後とも、本賞が全国的、国際的な学術・文化の振興に一層寄与いたしますことを願ひまして、私からの報告とさせていただきます。